ADULT ONLY
成年向
COMIC
HAGE to HIGE
NOT TO BE SOLD TO PERSONS
UNDER 18 YEARS OF AGE
PRESENTED BY
KEUMAYA
SINCE 1991
ADULT ONLY
1999 WINTER PRESENTED BY KEUMAYA

戦争は決闘以外の何ものでもない。
巨大なスケールの決闘である。

———カール・フォン・クラウゼヴィッツ
(1780〜1831)

女は不完全である。彼女は、自分のために全てを創ってくれる男を
尊敬しなくてはならない。

男は不完全である。彼は、男を作り男の喜びを作る女を
賛美し尊敬しなくてはならない。

———ジュール・ミシュレ
(1798〜1874)

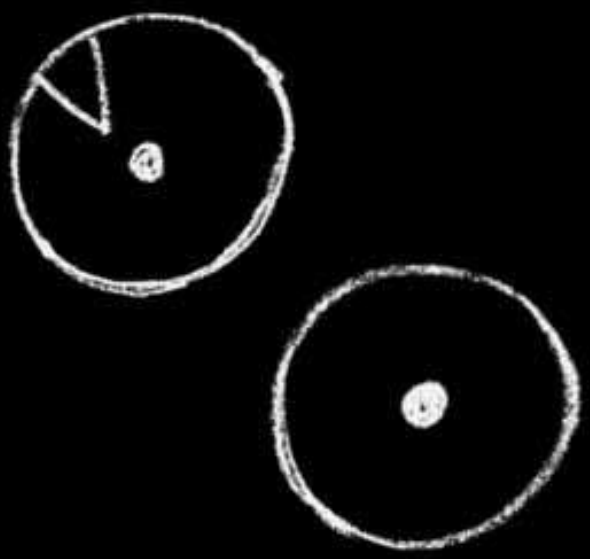
今日、若い画家たちは何も信じない。
何も信じなければ、結局は何も描かない、というのは当然の帰結である。

———サルバドール・ダリ
(1904〜1989)

痛みは、何かがまだ語られていないことを示している。

———ジャック・ラカン
（1901〜1981）

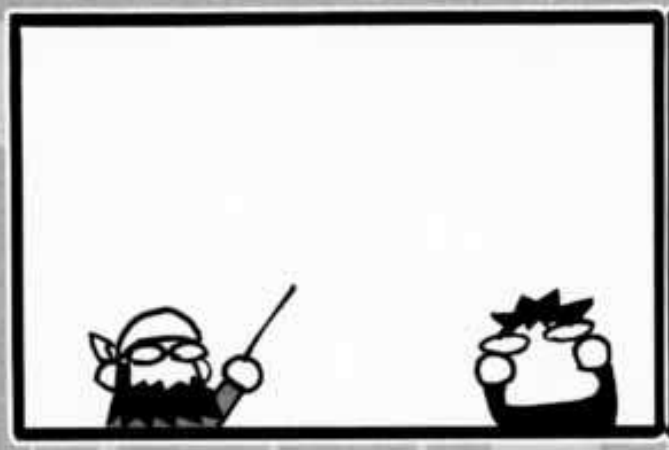
サイド：ヒゲ



どちらがキエルで、どちらがティアナ？

希有馬屋の主張 1999 冬

本屋は男性向サブカルです



	タイトル	エロ部分
97冬	オリハルコン01	46%
98夏	オリハルコン02	35%
冬	クガイ	35%
99夏	ハゲとヒゲ SIDE:ハゲ	31%

とゆうわけで
今回はがんばりました。

Story#17 ～ Story#18
And SIDE-HAGE
リリ・ボルジャーノ様のドレスの中に体に合うものがあってよかったですね
これで式典に出られますね
ロラン あなたは変だとは思わない？
はあ？何がですか？
お姉様よ！どう考えても変よおかしすぎるわっ
キエル お嬢様がですか？

お姉様
私に会った時

私のコトを
『ソシエさん』って
言ったのよ

いつもは
『ソシエ』って、よぶのに

考えすぎですよ
ソシエお嬢様

そうかしら？

私がミリシャに
行ってる間
お姉様に
変なとこかかったら？

変なとこ…

『かもしれない』
『ばか
あたりまえだ』
『バカな
あるわけないじゃん』

あれはきっと
ムーンレイスの
スパイよ

絶対！

えー
まーなあ
!!!えそうよ!
女のカンが
そう言ってるの

ロラ!
最近お姉様と
アレしてる?

あ…
アレですかぁ
そ、
そういえば最近は…
やっぱりね

やっぱり…
あの―
あのアレだ!!
あの女の化けの皮
はいでやるわ
このメンエ
女ったらね!!

ふう
ソシエさん お休みごは なかったんですね
えへへ

最近 アシとなりんですってね お姉様

?
え? ええ、まあ
おかしいなあ

あんなに 大好きだったのに

ぐ

まんなか長い間ガマンできるなんて

変たわね お姉様

ソシエさん、私を疑っている!?

人は状況によってかわるものですよ ソシエさん

でも

今日ぐらいは いいわよね お姉様

いいわよね

そ、そうですね

今日ぐらいは

?

?

ロラン!!
なんという格好です
ここは女性の寝…
!
じー
疑いの眼
じー
ロラン
気持ちはうれしいのですが、今日は疲れていますし、また明日にでも…
あはは
お姉様!

今日はいいのよね

きらーん

あ、はい

そうですね 今日ぐらいは

ほら、お姉様 ロランのここ もうこんなにぴんぴん

お姉様っ

久しぶりだから スゴくカタいわよ

そ、そうですね

データベースで見たのとなんかすいぶん違ってるかも。

ムーンレイスまめ知識

月面では人口制限のため、生殖に関することは、かなりのタブーとなっている。もちろん女王であるデナトもその例外ではない。

見られてるだけで こんなになってるのよ

先っぽがまた赤で ツルツルして おいしそうでしょ

そ、そうですね

おいしそうって まさか…アレを

おいしそうよね

ブ

※詳細は単行本"SIDE:M"参照。

さあ
どうぞ 奥様

え――!

お嬢様
じらすのはやめてください
はぁ
ぷちゅぷちゅ
ぷちゅぷちゅ
はぁ
ふ
ふ
ふ

たしかに
昔読んだ文献に
口全体で
くわえて
ぽ
あ
ぶーん
ぶーん
ぶーん

ちゃっちゃっちゃ
み蝶様
はぁ
はぁ
やっぱり
そうだわ！
すごく
苦しそう
ハァ
ハァ

『ムーンレイスは
性的に非常に
未熟である』
ギャドル隊長の
言ってたとおり

そして
コレが最後の
証拠よ!!

ひぁ…！
えっ？

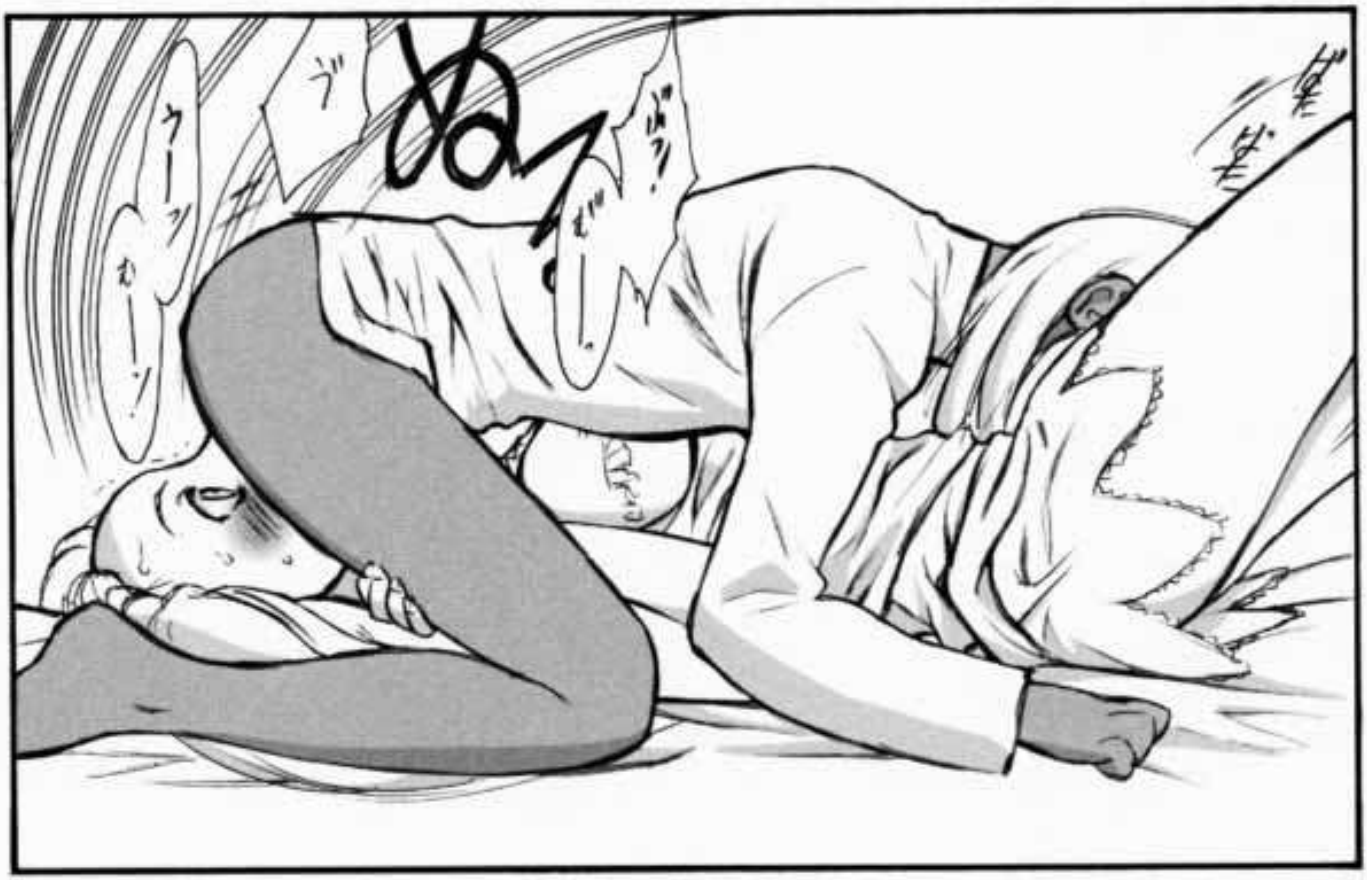
ナニが！

えっ？

すいません
お顔に出しちゃって
す、すみま…
ん…
ぶん
ラ、ク、
ロラン！
いえ、私のカンは正しいはず！必ずレッ…を出させてみせる！
お姉様もしかして演技で私をからかってる？
意外に勉強とそりなりて？
実にあの…方…
多忙にワをはなした私も悪い人ですから
いいんですよ

キミたち嫌様すみません
オヤッ
な、何を!
あらお姉様、次はロランのお返しをうけなくちゃ
ネスッ!
ロラン 久しぶりに充分に奉仕なさい!
ぱくっ
ぱくっ
ぱくっ

ちゃる
ちゃる
ちゃ
ふ
ふ
ふ
ふる
ふる
ちゃ
はっ
はっ
はっ


ぶる
ぶる
ぶる

二人ならどう!?
キュッ
ぶぶぶぶ
ふぅ
ふぅ
ふぅ

はー
かーっ!
ギャラ〜
さっすがロラン!! ぱ!! 出るわね〜
ぐ、
オ
ラー
なまぬるくてねばねばして苦いでしょ
ほら、吐き出しなさい!! ムーンレイス
……
ぷぇん
ぷぇん ぷぇん
ふ
ん
の
飲んでる!?

あ
あ
あ…
き
ぐぐぐ
ぐぐぐ
しかも
吸ってる
あ
あ
もうダメです
僕…もう
ああ
ロラン
もっと
もっと
もっと
頂戴
ふぅむ
むっ

お嬢様
そんなコトされても
僕はもう……

知ってます
さっき見てましたもの

ここ、なんでしょ

お姉様だわ

まちがいなく

あはは

ほら もっこんなに 元気

やめて 下さい!

ロラン あ

どうだ さっきのように しましょう

えッ!

ロラン まりあ

イイ…

ぱっ

気をちりり

むぅ

じゃあ あたしはココら へんで…

あらダメよ ソシエさん

私たち 気をちりりなんて ズんりあ

ロラン ソシエさんにも してあげなさい

え

ま

ふむっ
ふっ
んくっ
ん
ちゅ
ちゅ
ソシエさん
おっぱい吸うの上手
どこで
覚えたのかしら

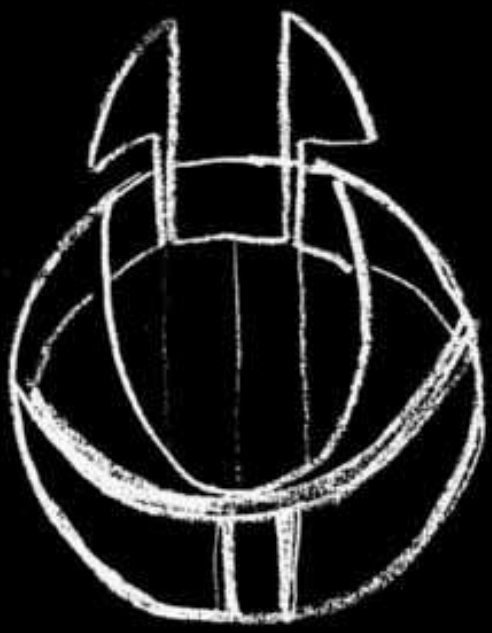
ロランの固いのを
おちりっぺ
しゃえたりのよね
お姉様…私…今日
本当に危いの……

ふん
あら、それは大変
気をつけなくてはね
ロラン
ふう
ぴくっ
ぴくっ

あ、ダメ
あ、ロラン
ん、
お嬢様
あ
は
あ、
う

お嬢様
出ますよ
え!!
ロラン
女絶対!
ロラン、外に!
外に!!!
ぐぃ
ひあ、
は
あ
ぐぃ
ぐぃ
ぐぃ

後日
そりゃあ
コシモ
ぬけるわ
あ、
あ、



もはや、なんのためらいもなくカッコイイと思ってしまう。

今日見なくていい傑作

～なぜマガンダムは成功しなかったか～

TURN A GUNDAM COLU

「わが青春のアルカディア 無限軌道SSX」という作品を御存じだろうか。今は昔、1982年にTBS系列で放送されたTVアニメシリーズである。

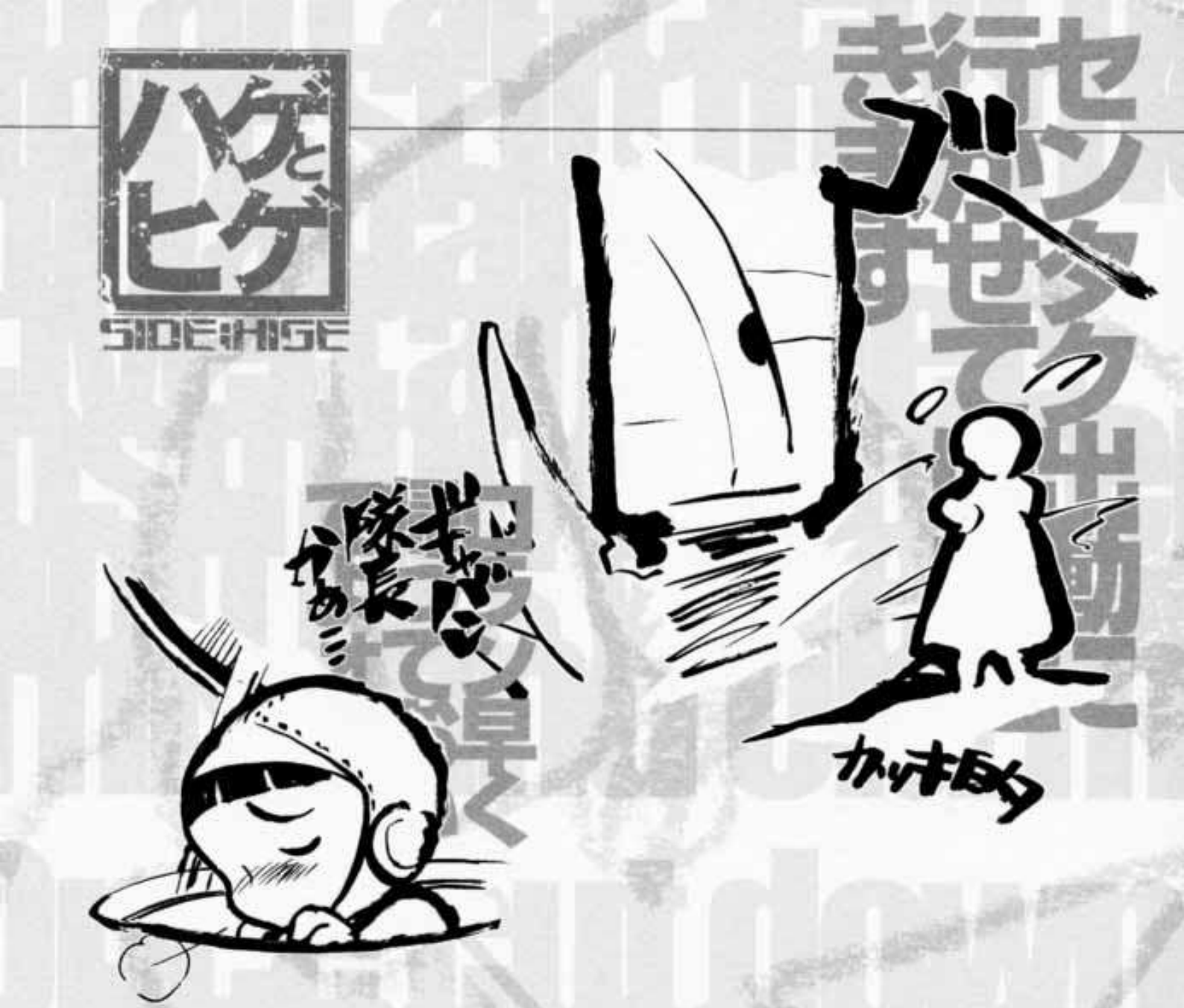
今もってコレを振り返る人間はいないが、実はちょっとした佳作である。宇宙戦艦ヤマトに端を発した70年代松本零士ブームではあったが、当時の演出や作画のレベルでは（金をかけられる劇場版を除いて）松本漫画のクオリティを再現していたとは言い難い。

しかし、宇宙戦艦ヤマトから8年の技術とノウハウの蓄積、何より製作現場の松本世界に対する理解力の向上により、本作品は（多少子供向けながら）かなりよく松本的宇宙を再現していた。

しかし視聴率的には全く振わず、22話で打ち切られた。

それは松本零士的世界観が時代に通用しなくなったという象徴的作品となった。世はガンダムブーム真只中、裏番組は「うる星やつら」。以後松本零士原作のTVアニメシリーズは作られてはいない。

その昔、1983年に「みゆき」があだち充作品として初めてアニメ化された時、コアなあだちファンは憤慨



したという。曰く、キャラがかわいくない。曰く演出が全然あだち漫画を再現していない。

こんなの「みゆき」じゃない。

そして最後には、あだち充の漫画をアニメ化するなど不可能だ、あの雰囲気をアニメ化などできない、とまで言ったという。

しかし、「タッチ」「陽あたり良好！」と年月を重ね、技術の向上と演出ノウハウの蓄積により、12年後の「H2」では、その不可能だと思われた、あだち充独特の暖かみのあるキャラクターの線や、あの妙な雰囲気あるコマ運びを、ほぼ余すところなく映像化できるように現場が成長していた。

僕の知り合いのコアなあだちファンの男は拳を握り締め、その素晴らしさを熱く語ったほどだ。

が、これもまた視聴率的には苦しみ、打ち切りではないまでも39話で放送終了。「タッチ」101話、「陽あたり良好！」48話にはとても及ばなかった。1996年、この年「新世紀エヴァンゲリオン」TVシリーズ放送終了。本格的なエヴァブームが始まる。

¥ガンダムは実に良く出来ている作品である。

状況は数話で必ず変動し、視聴者の油断を許さない。トミノ的に会話シーンが長引くようなら、レギュラーキャラクターの妙な台詞や、画面の面白さでビリリと絞める。毎回といっていいほどモビルスーツ戦がある。しかも有り体な、なぁなぁの戦闘ではなく、必ず一工夫入れ、飽きさせない。

作画もサンライズの底力か、最初は線に違和感のあった安田キャラも上手い具合に消化し、¥ガンダム風の画面運びが板に付き、落ち着いて見れる。

¥ガンダムは実に良く出来ている。

しかし、最大の問題はそこにこそあるのだ。

実は僕は、毎週¥ガンダムをリアルタイムでは見ていない。ビデオに撮って見ているのだ。あなたにも経験はあるだろうが、撮り溜めたビデオをまとめて視るのは、ちょっとおっくうだ。

その時、作品にビデオにテープを押し込んで、再生ボタンを押させる力が求められる。

些細な、ほんの小さな力。

しかし、これが¥ガンダムに欠けている。そして、それは些細だが、実に重要な¥ガンダムの弱点だと思う。

¥ガンダムの弱点、それはキャラクターの不在である。

変なコトを言うと思う方もいるだろう。むろん、¥ガンダムは群像劇であり、キャラクターは掃いて捨てる程いる。キエル、ディアナ、ロラン、グエン、ソシエ、ハリー、ポゥ……。だが、その星々のように鏤められたキャラクターたちには中核がいない。物語の中核となるキャラがいないのだ。

未だこだわるのは恥ずかしい限りだが、分かりやすい例えなので言わせていただく。エヴァンゲリオンのキャラクターを全部紙に書き出すとしよう。その人間関係を矢印で結び、人物相関図を作る。

そのたくさんの矢印の中心には、あたりまえだが碇シンジがいる。エヴァの主人公は碇シンジだからである。

同じことを¥ガンダムでやってみよう。たくさんの矢印の中心にくるのは誰か？　むろんロランではない。その証拠に仮にロランが死んだとしても、なんと物語は何の支障もなく進行する。¥ガンダムはソシエやテテスでも動かせる。（たぶんハリーでも、ブルーノやヤコップでも動かせるだろう。もしかしたら、ロランより上手いかもしれない）

ロランは多くのインタビューでも語られているように、物語の傍観者に過ぎないのだ。

その矢印の中心には、キエルとティアナがいる。この二人の動向こそが物語の鍵なのは明らかだ（むろん、そのどちらが死んでもけっこう大変な事態になる）。では、視聴者はこの二人にこそ感情移入し、物語の展開をハラハラドキドキと見守るべきなのだろうか？

結論から言うとそれは難しい。これだけ時間が過ぎたにもかかわらず、僕は未だ彼女等の性格すらよくわからない。

いや、もうぶっちゃけて云おう。キエルとティアナ、僕にはどっちがどっちかわかんないのだ。

むろん、各々のシーンでは「目の中のハイライトが入っているか否か」という記号に頼らずとも、それがキエルかティアナかはちゃんと把握できる。作劇がよくできているおかげである。しかし、各エピソードを思い出す時、「絵」で思い浮かべる分、印象がごちゃごちゃになってしまう。

ハリーに想いを寄せていたのはキエルだったっけ、ティアナだったっけ？　ロランとのあのエピソードの時、側にいたのはどっちだったかな？　R.E.T隊が忠誠を誓ったのはどっちだったっけ？　今捕らわれているのはどっちだっけ？

深く考えれば、答えは出せるのかもしれないが、一瞬戸惑う。漠然と見ている視聴者にとっては、二人のエピソードは混じりあい、渾然となり、なんだかよくわからないが物語の中核の姫様という、薄い印象のみが残るだろう。これは、二人で一人などと云う詩的なものではない、ただの混乱だ。

物語の中核であるべきキャラクターがいないと言ったのは、こういうことなのだ。

そしてVガンダムの世界状況は実によく変動する。

一話見のがすと、いつのまにか敵が味方になっていたり、味方が敵になっていたり、いつのまにか世界名作劇場になっていたり、太陽の子エステバンになっていたりする。

ムーンレイスと地球人との抗争は混迷を極め、策謀と謀略が入り乱れ、いまだ事件の全貌は見えず、ハラハラドキドキと次回を待っ……

たりはできないのだ。残念ながら。

つまりこれこそが、中核となるキャラクターの不在による弊害だ。なにせ、物語の進行に興味が持てないのだ。「次回はキエルどうなっちゃうんだろう」とか「ディアナ様萌え」とかは、なかなか思えない（し、言っている人間も聞かない）。

もちろん、それによる利点もある。ひとつの状況、一人のキャラクターに感情移入を許さない作劇は、物語全体に俯瞰の視点を与える。

だから僕ら視聴者は戦争という時代の混乱を、実によく理解できる。僕らにはフィル・アッカマンの苛立ちも、ディアナ・ソレルの憤りも、グエン・ラインフォードの野望も、同じ事象として平均的に見ることができる。

そう、そういった意味で、νガンダムは本当によく出来ている。だから自然と、物語の焦点は、キエルとディアナの行く末などという瑣末ではなく、月の民と地球人たちの戦争が何処に至るのかという、グローバルな事象へと昇華していくのである。

しかし、それはいくら上手くいってるとしても、今ビデオのスイッチを押させる力にはなりはしない。

何故が？　それは、もはや我々は「戦争」などというグローバルな事象には興味が持続しないのだ。

今年の初め頃、僕はとあるアニメの企画を立ち上げようとした。その時、初めの企画会議で脚本家が出してきたプロットがいわゆる「主人公たちの活躍によって、現在の状況がガラガラと崩れ、新しい世界が云々……」といったSFモノであった。

それを聞いた時、僕はその脚本家に言った。

「貴方は自分や、自分たちの仲間の活動によって、世界が

変革していく状況というものが想像できるか？　残念ながら、僕には想像できないし、実感もわかない。

明日世界が変るといわれても、「ああそうなの」としか思えない。そんな僕達がそんな絵空事を描いて、見ている人を引き込めるのか？」

時代の節目にいる人々の活動によって、世界が変革していく……これが「歴史」なら、まだわかるのだ。新撰組の気分や、ジオン公国の一兵士の気分を想像することはまぁ、可能だ。しかし、それはあくまで一兵士の視点を想像することであり、戦争そのもの自体を捉え、知ることに興奮したりする人は少ない。いないわけではないが、非常に少ない。

なぜなら、僕らにはそんな必要がないからだ。必要がないから興味もわかない。

僕らにとって世界を変えるのはテクノロジーであり、経済だ。それは目に見えないモノであり、感じ取ったり実感したり、ましてや自分の力で変えたりするものではないのである。

例えば、あなたに絶対的な力が与えられ、世界を変えることができると言われる。あなたはどうするか？　僕は別に世界は今のままでいいと思う。思ってしまう。変った先の時代のビジョンが見えないからだ。理想の社会というものが想像できないからだ。

これは良い悪いといった問題ではない。そうなんだから、しょうがないのだ。時代の気分と言ってもいいかもしれない。だから明日、なんらかの巨大な事件により世界が変ると言われても、どうにもピンとこない。関西淡路大震災も、オウム事件も世界を変えやしなかった。

「自分が変る」という方がずっとリアリティがある。

しかし、振り帰ってみればいわゆるトミノ物とは、そういった世界全体の変革を扱う物語でなかったか？

はたして「イデオン」はユウキ・コスモの物語であったか？　「ザブングル」はジロン・アモスの物語であったのか？　「ダンバイン」は？　「エルガイム」は？

それは常に世界の物語であり、時代の移り変わりに翻弄される人々の物語でなかったか？　いやもとよりガンダムこそがその先駆けではなかったろうか？

アムロは一民間人、一兵士であり、戦争という状況はアムロと関係ないところで始まり、関係なく存在し、関係ないところで終わる。だが、アムロ自身は戦争の真中にあり、その影響をいや応なく受けざるをえない。そしてそれがゆえに変化を強いられるのだ。一民間人から一兵士に、一兵士から連邦のエースに、そしてエースゆえに、愛した女を殺してしまう悲劇の男に。

そして、それを通して描きたかったのはアムロという一人の男ではなく、「一年戦争」という、架空の戦場ではなかったか？

だとすればまさにＹガンダムはトミノアニメとして、ガンダムものとしてよくできている。主人公を傍観者と設定する。世界の中核となるキャラクターを二人設定し、入れ替えを頻繁に行うことにより抽象化する。それにより俯瞰の視線を作り、状況こそを主役に設定する。戦争とは何か。違う文化をもつ者たちが荒事なしに分かり合うことはできるのか。文明は本当に人間を幸せにするのか……。

激動の60年代。トミノが大学生だった頃、それはたしかに彼らの傍らに在った。天下国家を論じることは、絵空事ではなかった。学生たちは労働者と手を組み、国会を取り囲んだ。日本は未だ経済大国への階段の途中にあり、かたや共産主義はまだ理想としてあった。戦争反対はスローガンとして立派に機能した。反体制はカッコイイものだった。国家は悪で、民衆は善だった。だから、トミノにはわかる。トミノは伝えたいと思う。

だが、僕らには、分からない。

逆を言えば、トミノが表現したかった何ものかに現場が到達するまで、ガンダムから20年が必要だったのだともいえる。油ののったサンライズスタッフの作り出すVガンダムは、トミノものとして実によくできている。実に面白い。

しかし、それは今日、あなたがテレビをつける、又はビデオテープの再生ボタンを押す理由にはなりえない。

よく出来ているがゆえに。

ちょっと架空の話をして、話を終わろう。

例えば数年後、テポドンが日本の主都に着弾すれば、僕のこんなタワゴトは灰燼に帰し、新たな状況が僕らを包むだろう。また別な理由で日本が切迫した局面に置かれ、戦争や革命がリアリティがないなんて言っていたことが、夢のように思える時代が来るかもしれない。

よしんば、その時に貴方が、ビデオに撮ったこの作品を見れば、この作品を面白いと思うかもしれない。もしかしたらディアナ・ソレルやキエル・ハイムの苦悩や憤りを、貴方自身のものとして感じることが出来るかもしれない。

もしかしたら……。

なぜなら、Vガンダムは本当に面白いからだ。トミノものとして、ガンダムとして。

今日、あなたがVガンダムを見なくても。

Vガンダムは傑作なのだ。

地表からは、なにか悪いモノが出ている。

なんだロラン
コロコロ読んでん
のか？

かせよ

あっ

ちっ

なんだ
ボンボンかぁ

かえして
よぉ

なんだこの
ヘンな
ロボット

カッコわるー

ギャハハハ

かえしてよぉ

ロラン、お前
ボンボンなんて
読んでんのかよ

メダロットとか
デジモンとかよぉ
ようはポケモンの
パチもんじゃん
これもゾイドの
パチもんなんじゃ
ねぇの
ちがうよ!!
ターンエー
ガンダムだよ!!

たーんえー
がんだむ?
グエン兄ちゃん言ってたもん
ターンエーは
シドミードっていう
世界一のデザイナーが
デザインしたんだぞって
アニメだって
やってるんだよ
フジのゴールデン
ポケモンなんて
しょせんテレ東
だもん
格がちがうよ

バカくせぇ
じゃあ お前
そのターンなんとか
みてんのかよ
みてるよ
兄ちゃんと
一緒に毎週!!
じゃあ
ターンなんとかは
面白いのかよ
うっ

お、面白いよ
すっごく
おもしろいもん!!

へぇ…

どこがそんなに
面白れぇの

えっと…
ガンダムが
手でミサイル
投げたり…

ポゥっていう
ムーンレイスが
泣きさけんだり

ザクが
ボルジャーノン
っていって
出てきたり…

地球人が間違って
核バクハツさせたり…

あと、えっと
その…

とにかく
すごくお面白いんだよ

ふーん

この金髪の女が
ボス敵なの?

ちがうよ、それは
ディアナ・ソレル
ってゆって
地球人の
キエル・ハイムの
そっくりさんで
地球と月の和平を
望んでいて……

じゃあ、この赤い目の
宇宙人みたいなのが
ボス敵なの?

それは
ハリー中尉って
いって
ディアナ・
ソレル
の親衛隊の
隊長で……

あーもう
わっかんねーっ!!!

だれとだれが
戦ってるわけ?
めんどくせー

敵なんか
いないんだよ

それが『戦争』だって
兄ちゃん言ってた

戦争かよ

だっせー

もういいよ
いこうぜ

俺んちいこーよ
64DD買ったんだ

えー
スゲーー

巨人のドラゴンやりたいよ

……

へっ

ギュウ

子どもだよな
アイツら

あんなヤツらに
ターンエーの面白さ
なんかわかるもんか

デレデレ

新しいゲームだ
かっこいーー

じわ

オリ

○あとがき

彼女の苦悩が、我々には理解できない。

『面白いなら、素直に言べばいいじゃん』という御意見があれば、全くその通りと頭を下げざるをえない。
ただ上手くいっているがゆえに、顕在化した問題もあると思い、このような本になった。
インシツな悪意しか持てないのはトシとった証拠（上田大王）なのかもしれない。

何度でも、くどい程いうが∀ガンダムは面白いのだ。トミノ的に。ただ、万人に薦める気にはならない。
薦めた人間に、『あんなのドコがイイの？』と心無い言葉を返されるのは、もうたくさんだ。

オタクは意外に傷つきやすい。

ただ、これだけはいえる。
この本を書いている時点では、未だ終りの見えない∀ガンダムであるが、最終回までは僕らを
きっと楽しませてくれるだろう。しかし、最終回はみんなが呆れるシロモノになる。
いきなりストンと終わるか、妙な取って付けたようなドラマでお茶を濁すか、全部殺して御破算にするか。
どうなるかはわからないが、それは語るべき物語に結論を出せなかったアレとはまったく違う。
物語の中核を放棄した以上、みんなの納得する（定型の）終わり方は迎えられないからだ。

これは預言だ。外れたら、僕のこの作品に関する僕の分析が間違っていたことになる。
その時はもう一冊∀の本を作ってもいい。そのくらいの覚悟はある。
でもたぶん、その必要はないだろう。

どんなラストが待っていようと、今∀ガンダムが面白いことには違いない。
僕はそれで、充分だと思う。楽しいことを探いて、オタクは生きているのだから。

ここまで読んでくれたあなたに、感謝。

1999年12月　∀放送中の池袋から

希有馬／井上純弐

お前の行動と作品が、万人に愛されることがかなわないのなら、小数の人間を満足させよ。
多くの人々に愛されるものは、ろくでもないものだ。

———フリードリッヒ・フォン・シラー
(1759〜1805)

●奥付●
発行者：希有馬
発行日：1999.12.26
印刷所：コーシン出版

ご意見ご感想、反論、攻撃、νガンダムを俺はこう思う、こうだったらよかったのに、いやこうあるべきだ等、お待ちしております。面白い意見は次の本で取り上げさせていただきます。

三郡市の園田一茂君、毎回本どうもありがとう。また送ってね。

その後の BEAST BIND

日本最後のオリジナルテーブルトークRPGと銘打ち、青水の陣で小学館から発売した"BEAST BIND　魔獣の絆RPG"。
結果は、おかげさまで大好評。とある流通からは『ソードワールド級の爆発力があった』とまでいわれ、TRPG久しぶりの大ヒットとなった。

それもこれも買ってくれたあなた方のおかげだ。
本当にどうもありがとう。

品切れ店続出で、1999年12月24日に増版も決まった。この本を読んでいる頃には、TRPG関連の商品を取り扱っている専門店であれば、比較的簡単に手に入るようになっているはずだ。

あまりの売れ行きに小学館の方も『テーブルトークRPGはイケる』と思ってくれたらしく、BEAST BINDの続編も決定。このテーブルトークRPGが『日本最後のオリジナルTRPG』と唱ったのは、どうやら笑い話になりそうだ。

でも、まだ息を抜くのは早い。
新たな千年期に日本のテーブルトークRPGを伝えていくために、これからも全力で努力していくつもりだ。

次の作品に期待していただきたい。

BEAST BIND 魔獣の絆RPG

小学館TRPG参入第一段!!　著者井上純弐ほか　定価3400円（税抜き）　ISBN4-09-385140-9

T U R N "A" C O T E R I E M A G A Z I N E

HAGE to HIGE

NOT TO BE SOLD TO PERSONS
UNDER 18 YEARS OF AGE

In an ancient bamboo forest in the mountains of
Lived an aged bamboo-cutter a
This

down a bamboo glowing with
And inside he
tiny

Heaven must have sent her to us so we need
Oh,what joy! To have a little fairy princess
Praise the
Said the bamboo-c

Every day from
bamboo he would behold shining within
And it was always

With the gold they bought their daughter
Smooth
Like the moo
Still water did her gentle bo

In three months she
With eyes like stars that gle
Lighting up the bamboo
And they named her Sh

Hearing of her dazzli
catch a fleeting glimpse of lovely Princess Sh
All the young men
"Ah,to make that gi

"Ask Prince

FROM THE TURN"A" GUNDAM
(1999~2000)

PRESENTED BY
KEUMAYA
SINCE 1891

ADULT ONLY

1999 WINTER PRESENTED BY KEUMAYA